

総合研究報告書

(平成26～28年度)

目 次

I. 総括研究報告

- 急速な病期進行あるいはセロネガティブ感染を伴う新型HIVの国内感染拡大を
検知可能なサーベイランスシステム開発研究 -総括研究報告- 1
川畠拓也 (大阪府立公衆衛生研究所)

II. 分担研究報告

1. 感染性分子クローンを用いた新型変異HIV-1のウイルス学的解析 15
村上 努 他 (国立感染症研究所)
駒野 淳 (国立病院機構名古屋医療センター)
2. 新型変異HIV-1感染症例の検討 25
小島洋子 他 (大阪府立公衆衛生研究所)
3. 医療機関における新型変異HIV検出体制の構築 35
渡邊 大 他 (国立病院機構大阪医療センター)
4. 新型変異HIV感染者の宿主因子の解析 43
塩田達雄 他 (大阪大学微生物病研究所)
5. 新型変異HIVの遺伝子解析および分子疫学解析 49
森 治代、小島洋子 他 (大阪府立公衆衛生研究所)

6. 通常とは病期進行の異なる HIV を検知するための HIV サーベイランス体制の強化…
.....59

川畠拓也 他 (大阪府立公衆衛生研究所)

7. 地域における個別施策層向け HIV 検査体制の強化.....65
川畠拓也 他 (大阪府立公衆衛生研究所)

III. 研究成果の刊行物一覧

研究成果の刊行物一覧.....81